

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立向島中央小学校	校長	加登谷 州章	生徒指導主事	三島 諭
-----	-------------	----	--------	--------	------

取組事例名	『全校クリスマス会』
-------	------------


取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「主体性」	2	「自らの自信」	3

取組のねらい

『望ましい集団づくり』 『自分たちの力によって進める活動』
 ○異学年交流を通して、よりよい学校生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
 ○児童同士の交流で、友達との楽しい思い出を作る。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード「みんなが楽しめる」』
----------	------------------------------

<p>○児童会執行部を中心に6年生一人一人が学校の一員としての自覚を持ち、友達と協力しながら1年生から5年生までのみんなが楽しめるクリスマス会を開催する。</p> <p>6年生が中心となってみんなが楽しめるクリスマス会を開こう</p> <p>①委員会ごとにグループ作り</p> <p>②お楽しみブースの内容検討 サンタ作り 的当てゲーム 折り紙 ボーリング 輪投げ 釣り堀 クイズ 着ぐるみ (サンタ、雪だるまなど)</p> <p>③全校の児童を楽しませるようなものを企画・準備 当日の会場体育館の用意 当日の進行・運営 (役割分担)</p> <p> 司会 各ブースの呼び込み インストラクター</p> <p>当日の後片付け</p> <p>④反省</p>	<p>・児童の活動が主体的、自発的になるように、児童自らが工夫して自分たちで運営していく活動内容を設定した。</p> <p>・異学年交流の場となったお楽しみブースについては、児童の主体的な考えを重視した活動にした。</p> <p>・委員会ごとにいろいろなゲームや折り紙、サンタクロースの工作などのブースを開き、みんなが楽しめるものを準備した。</p> <p>・当日は、密にならないように低学年・中学年・高学年とグループを分けて参加してもらい、みんなでクリスマスを祝い楽しむことができた。</p>
--	---

取組の成果と課題

○会を成功させるためにいろいろなアイデアを出したり互いの意見を聞いたり新たなものを全員で生み出していくような話し合いができた。また、仕事の分担をするなど友達と協力する姿も見られた。

○自主的な活動を行うことによって、「自分たちだけで成功できた」「自分たちでやり遂げた」という満足感を味わうことができた。

○ゲームの景品もこちらが買うのではなく、子ども達の手作りのものを用意することで、自分達が主催した活動という意識を高めることができた。

○参加した児童は、ゲームの景品やプレゼントをもらってうれしそうに笑顔で帰っていった。

○人を喜ばすことで、企画から準備、運営、後片付けまで携わった6年生は自信を付けた。

○各クラスや学年の枠を超え学校全体で取り組んだことで、「あー楽しい！」とみんなが感じることができ、一体感を高めることができた。